

☆ ボランティアさんの一言 ☆

夜空はすっかり春の星座が主役になっていますね。

春の大曲線から春の大三角を見つけることはできますか？大ぐま座の北斗七星の柄を弓なりにのばして行くとアークツウルス(牛飼い座の1等星)、更にそのまま弓なりにのばして行くとスピカ(乙女座の1等星)を見つけられます、これが春の大曲線です。この春の大曲線…続きがある！？(笑)

私は子どもの頃に教わったのは…スピカの更に先へ…少しいびつな四角形があります。春の大甲子園大会ではありませんが…北斗七星からボールを投げてカーブしながらアークツウルスを越え、スピカを越えて四角形？ホームベースに投げ込んだ！さて、ストライク？それともボール？どちらかな？あなたならどちらに判定しますか？？そしてこの四角形が何座なのか解りますか？？…答えはカラス座です。そして、更に横にはトロフィー(コップ座)がありますが、優勝したのでしょうか？ご自分なりのお話しを作ってみてはいかがでしょう？

話しは変わりますが、2023年5月6日の未明から明け方、地球の半影に月が隠される半影月食が起きます。今回は普段とは違い月食は月食でも、地球の影のうち半影と呼ばれる薄い部分に月が隠される半影月食になります。食の最大である2時23分ごろ、いつもの満月の明るさではなく少しだけ暗くなったお月様…その明るさの違う満月を見てみてはいかがでしょう？

(by オルフェウス)

開館時間：15：00～21：30

☆ 5月の見頃の時間は19：30ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2023★5月の星空

暦の上では立夏となる5月上旬ですが、

なんと寒い日が続きます。夜は一枚上着があると安心です。夜空の上はすっかり春の星座が見頃を

迎え、全天で2位の大きさを誇る『おとめ座』が真上に輝きます。5月は春の星座を一番観測しやすい月

ともいわれ、“春の大三角” “春の大曲線” “春のダイヤモンド” などが見頃ですよ！



今月の星座

北

東

西

南



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

誕生星座は、【かに座】【しし座】【おとめ座】が見ごろになりますが、早い時間には【ふたご座】、遅い時間には【てんびん座】も楽しめるようになります。また、『北斗七星』が空高くなる時期になり、北の果ての星、動かない星といわれる『北極星』探しも簡単ですよ！“ひしゃく”の最初の2つの星の長さを5倍で到達できます。

星空トピックス 『GWは月、その後は銀河』

ゴールデンウィークの時期がやってきました！皆さんはどちらにお出かけするでしょうか。

◇ 前半は月のクレーター、後半は流れ星の可能性アリ

ゴールデンウィークの前半は月が満月期となります。満天の星は難しくなっていますが、月のクレーターは毎日見える部分に変化し、飽きのこない観測対象の一つです。また、天体としても大きな月は、双眼鏡や肉眼のほか、“片目で覗く”という望遠鏡の難しい動作の中でも認識しやすく、初心者の方や、小さなお子さま向けの天体でもありますよ！そして、ゴールデンウィークの期間は『みずがめ座η流星群』の時期でもあります。今年は月明かりで小さな流れ星は見づらいますが、普段よりも流れ星が見れる可能性が高まりますよ！楽しみです！

◇ 中旬以降は月の無い満天の星を楽しもう！

ゴールデンウィークが終わると、お空事情は新月期に。月明かりに邪魔されない満天の星と共に、淡い銀河や星雲、星団を楽しむことができます。前回の星空トピックスでもお話ししましたが、春は望遠鏡での観測が楽しい季節。無数の星が集まる星団や、渦を巻く銀河に帽子のように見える銀河、肉眼では一つに見えても望遠鏡を向けると違う重星など、一晩では見切れない天体たちが皆さんを待っています！